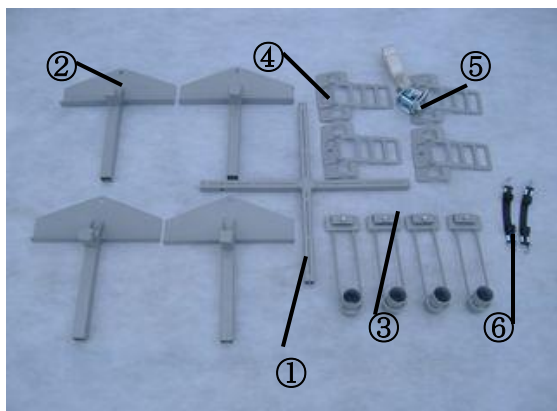


# エコロベースサポート 施工要領書

## 製品仕様

構成部材	タイプS	タイプM	タイプL	タイプ2L	タイプ3L	タイプ4L
①グラウンドキーパー	1基	1基	1基	1基	1基	1基
②スライドアンカー	4本	4本	4本	4本	4本	6本
③高さ調整型引き上げアジャスター	4個	4個	4個	4個	4個	6個
④ベルト掛けまわし用肩パット	3枚	3枚	2枚	2枚	2枚	3枚
⑤ウィンチ、ベルト付き肩パット	1枚 (ベルトの長さ L=1.5m)	1枚 (ベルトの長さ L=2.0m)	2枚 (ベルトの長さ L=1.5m)	2枚 (ベルトの長さ L=2.0m)	2枚 (ベルトの長さ L=2.0m)	3枚 (ベルトの長さ L=2.0m)
⑥仮止めバンド	2本	2本	2本	2本	2本	3本



\* 必要な施工道具は、大ハンマー、ラチェット(φ17用)、カッターです。(写真はタイプSです)

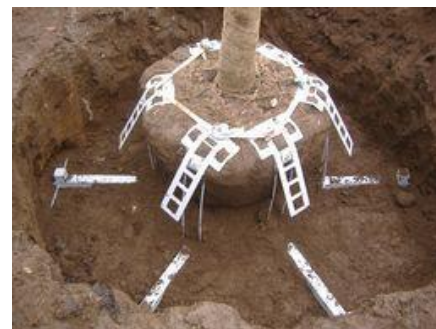
## 完成形



エコロベースサポートS



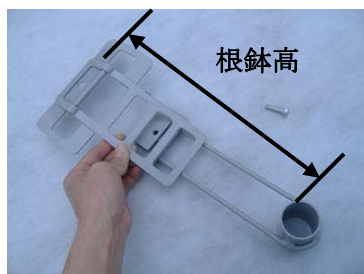
エコロベースサポートL



エコロベースサポート4L

## 1 本体組み立て作業

- ① 設置樹木の根鉢高を計測し、根鉢肩部分に肩パット上部がくるように、高さ調整型引き上げアジャスターと肩パットをボルトで固定します。この時、アジャスターを内側から掛けます。



根鉢高に調整



ボルトで固定



取り付け完了

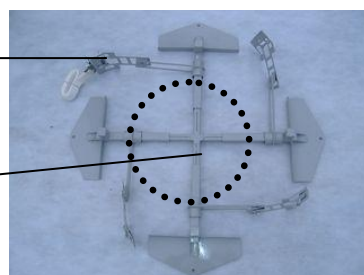
- ② アジャスターをスライドアンカーに通して、植穴に設置する準備を行います。この時、あらかじめウィンチ、ベルト付き肩パットに取り付けられているナットにゆるみがないかどうか確認します(ウィンチ、ベルトが左右に動く程度に固定する)。タイプL、2L、3Lは、ウィンチ、ベルト付き肩パットを向かい合わせにセットします。4Lはひとつ飛ばしに交互にセットします。



スライドアンカーに通す

ウィンチ、ベルト付き  
肩パット

樹木立て込み位置



植穴設置前の展開図

## 2 スライドアンカー打ち込み作業とクッション土壌の敷き均し

- ① 本体を植穴に設置して、スライドアンカー上部に付いている突起部分を大ハンマーでたたいて、抵抗板を全て打ち込みます。




植穴に設置

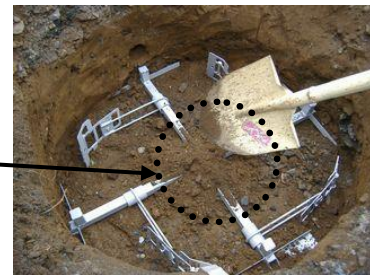


突起部分をたたく



抵抗板を全て打ち込む

- ② 樹木を転倒しにくくさせるのと生育促進のために、樹木立て込み前にあらかじめクッション土壌を、の範囲に高さ 10cm 程の山を盛ります。



クッション土壌を敷き均す

### 3 樹木の立て込みとアジャスター寄せ、仮止めバンドでの仮止め

- ① 樹木を立て込みます。ねかせているアジャスターを立てて、根鉢にフィットさせるように寄せます。その後、肩パットが倒れないように、仮止めバンドで対角どうしを仮止めます。仮止め後、土壌をある程度埋め戻して、樹木の立ちを合わせます。



樹木の立て込み



アジャスターを寄せる



仮止めバンドで仮止め

### 4 部分分解ベルトの掛けまわしとウィンチでのベルト巻き取り

- ① ウィンチを左側、金具付きベルトを右側にします。右側からベルトを肩パットに通していきます。その際の注意点として、肩パットの内側から外側にベルトを掛けまわします(V字のように掛けまわします)。全ての肩パットを掛けまわした後に、強く引っ張ります。掛けまわし後、仮止めバンドは、はずします。

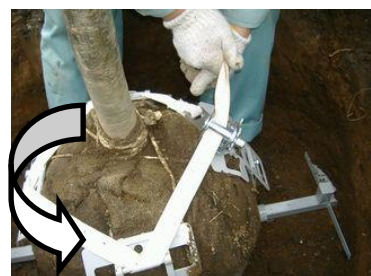
(タイプS、Mはベルトが1本、L~3Lは2本、4Lは3本でそれぞれ掛けまわします。)



ウィンチを左 ベルトは右



肩パットの内から外へ



掛けまわし後に引っ張る

- ② 余分なベルトを切断し(10cm 程度残す)、ラチェットを使ってベルトを巻き取ります。巻き取る時にベルトがよじれないようにします。これで、作業終了です。

(この時、ウィンチを締めこむ前に、樹木の立ちを決めてから締めこみください。ただし、ウィンチを締めこむとウィンチ側に多少樹木が引っ張られますので、その分を考慮して調整ください)

(水極め後、ウィンチの増し締めを必ず行ってください)



余分なベルトを切る



ラチェットで締めこむ



完成